

社会資本整備事業総合交付金チェックシート

計画の名称:茨城県における土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進(防災・安全)

都道府県名: 茨城県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 【茨城県総合計画(改定)「いきいきいばらき生活大県プラン」(H23~H27)】	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性) 【集中豪雨の多発や台風の激化, 都市化の進展等に伴う被害リスクの増大に対し, 土砂災害警戒区域等の指定を推進し, 地域住民の人命・財産を保全し, 土砂災害から安全で安心して暮らせる地域づくりを行う。】	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性 【土砂災害警戒区域等の指定を推進することにより, 土砂災害の危険性を周知し, 警戒避難態勢の充実・強化につながり, 安心安全な生活の確保を図ることができる。】	○
②定量的指標の明瞭性 【基礎調査実施箇所数】	○
③目標と事業内容の整合性 【土砂災害警戒区域等の指定により, 土砂災害の被害リスクを軽減することができる。】	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 【土砂災害に強い県土を作るとともに, 安心安全な県民生活の確保を図る。】	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) 【各市町村の協力を得て, 地元周知を行いながら事業を展開】	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 【平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害を契機に, 土砂災害に対する住民の関心が高まり, 警戒避難体制の充実・強化が求められている。】	○